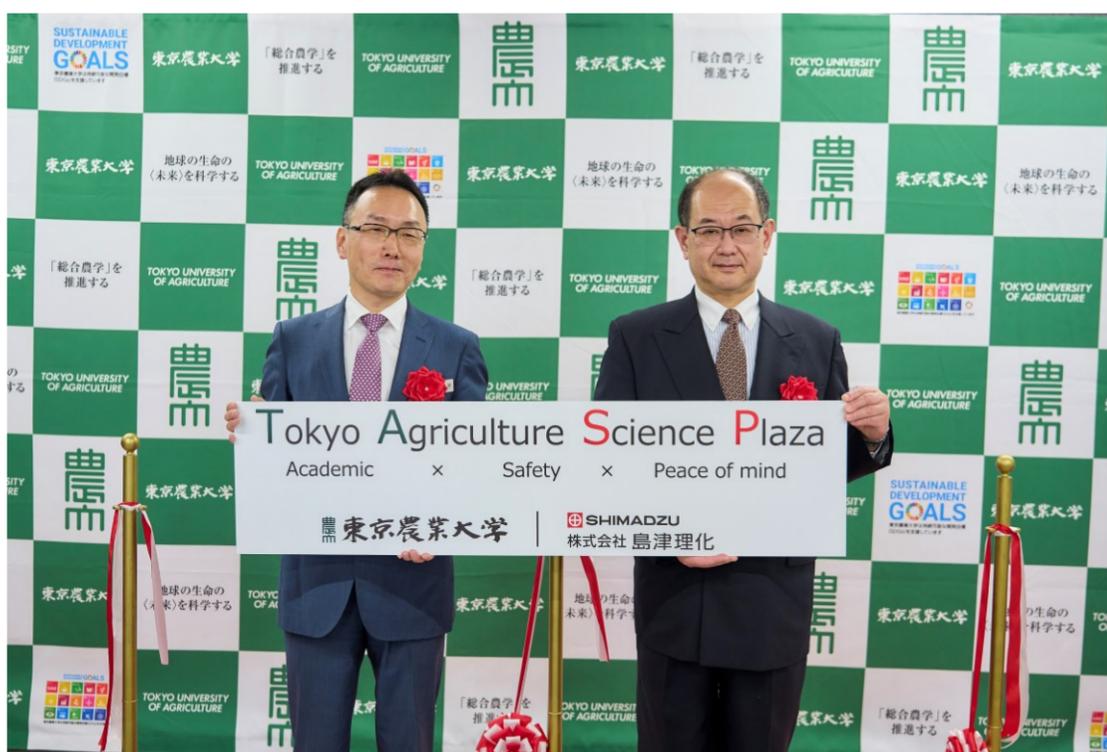


東京農業大学学内に専用ラボ 「Tokyo Agriculture Science Plaza」 を開所

2024年4月15日、当社は、学校法人東京農業大学（以下、東農大）と安全で快適な研究環境づくりに関する共同開発契約を締結し、東農大学内に「Tokyo Agriculture Science Plaza」を開所いたしました。東農大生命科学部分子生命化学科の矢島新教授と連携して研究室における化学物質使用時の作業改善や、ガス濃度や空気の流れなどのデータに基づいた安全性向上を目指します。



左から、島津理化代表取締役社長 中井泉、東京農業大学 江口文陽学長



装置の説明を受けられる江口文陽学長

実験・分析データの信頼性の確保には「検体や薬品、機材などにまつわる安定性」および「快適で安心な作業空間」の両立が必要です。島津理化と東農大は、研究室の空気循環をモニタリングして、有害な化学物質を検知した際に自動で排気するシステムなどを開発します。島津理化としては、大学との連携が今回初めてとなり、大学と企業、研究所に対して空調設備やコンサルティングを提供して参ります。

